

2016年(平成28年)3月期 第2四半期 決算説明会

長瀬産業株式会社
2015年11月30日

目次

- | | |
|------------------------|------|
| 1. 2016年3月期 第2四半期の決算概況 | P.3 |
| 2. 2016年3月期 業績見通し | P.12 |
| 3. エポキシ事業のグローバル展開について | P.24 |
| 4. (参考資料)セグメント別概況 | P.40 |

2016年3月期 第2四半期の決算概況

3

連結決算の概況

- 売上高：主に海外子会社における売上高の伸長により増収
- 営業利益：売上高の増加に加え前第2四半期連結累計期間に台湾子会社において貸倒引当金を計上した影響等により増益
- 親会社株主に帰属する四半期純利益：税金費用が増加したこと等により減益

(単位:億円)

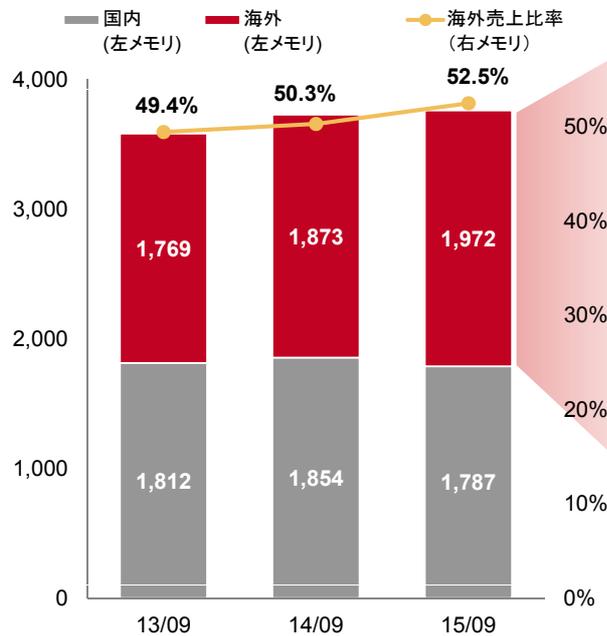
	14/09	15/09	増減額	前年 同期比	公表見通し	進捗率
売上高	3,727	3,760	+32	101%	8,230	46%
売上総利益	444	464	+19	104%	973	48%
<利益率>	11.9%	12.3%	+0.4%	—	11.8%	—
販売費及び 一般管理費	364	363	△1	100%	778	47%
営業利益	79	100	+20	126%	195	51%
経常利益	91	101	+10	112%	206	49%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	66	65	△1	98%	121	54%
US\$レート (期中平均)	103.0	121.8	@ 18.8 円安		@120	—

(1円あたりの為替変動による売上高および営業利益への影響)

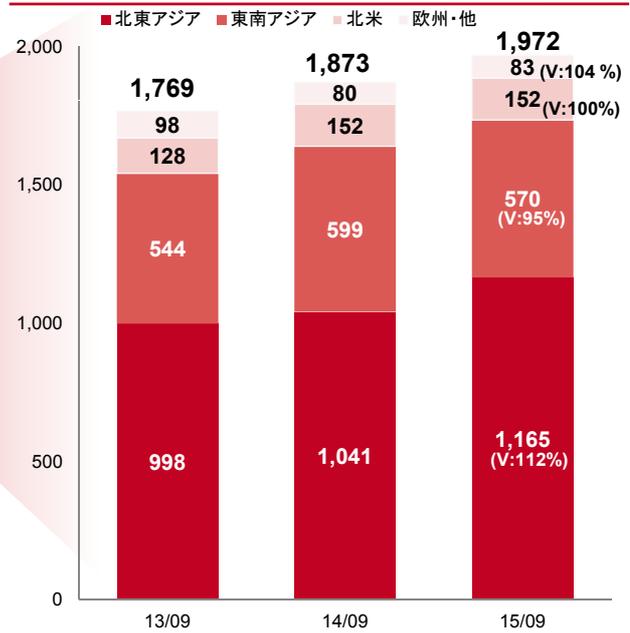
	1円のドル円レート変動による影響額	15/09期実績に与えた影響額
売上高	約14億円	+約270億円
営業利益	約0.5億円	+約10億円

■ 海外売上高比率が前連結会計年度に引き続き上昇

国内・海外売上高(億円、%)



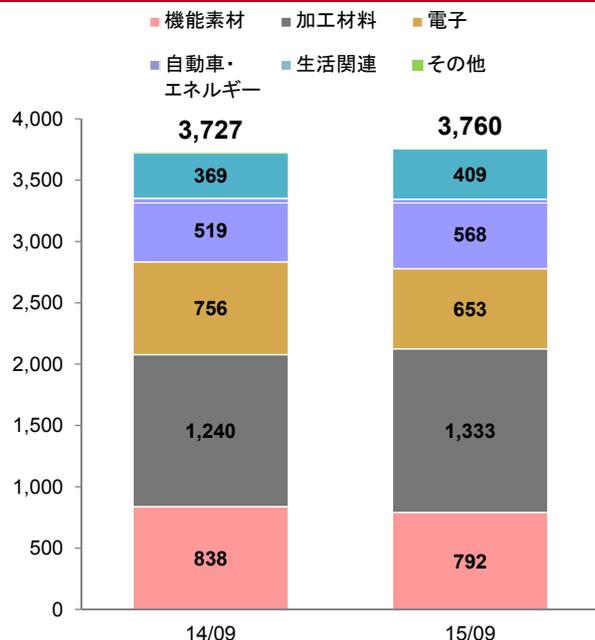
海外売上高の地域別内訳(億円)



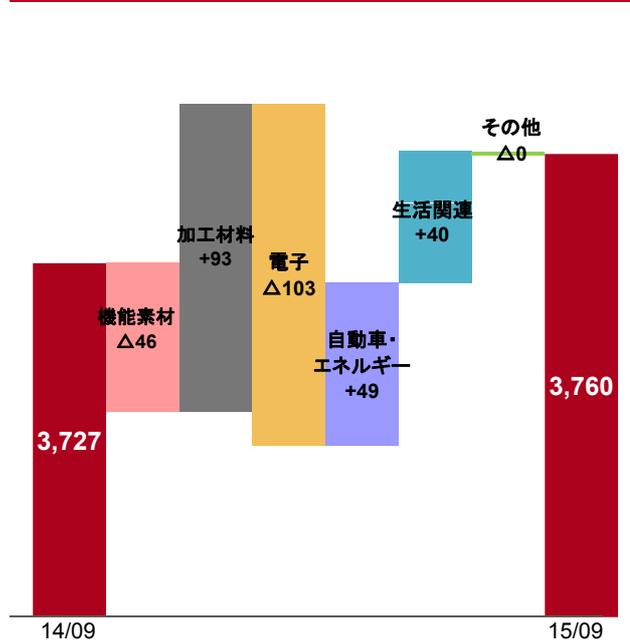
※V:前年同期比

- 加工材料:海外においてOA・ゲーム機器業界向けに合成樹脂の売上が好調
- 生活関連:国内外におけるトレハ®等の売上が好調
- 電子:液晶関連部材の売上が減少

セグメント別 売上高(億円)

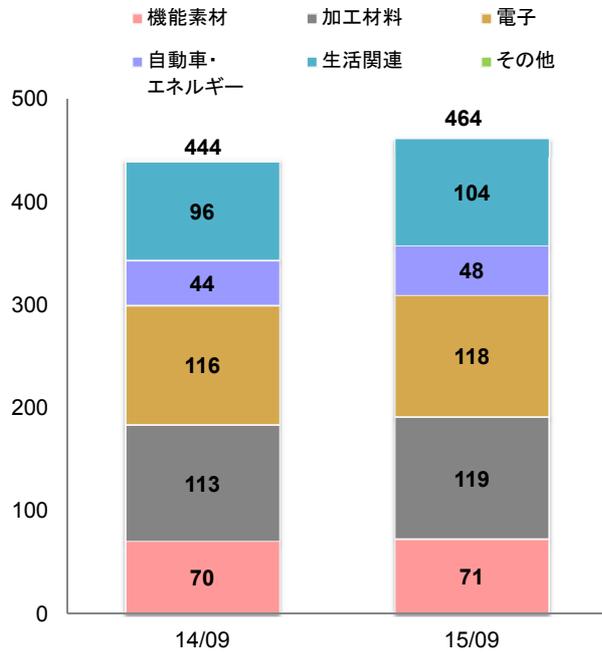


セグメント別 売上高増減(億円)

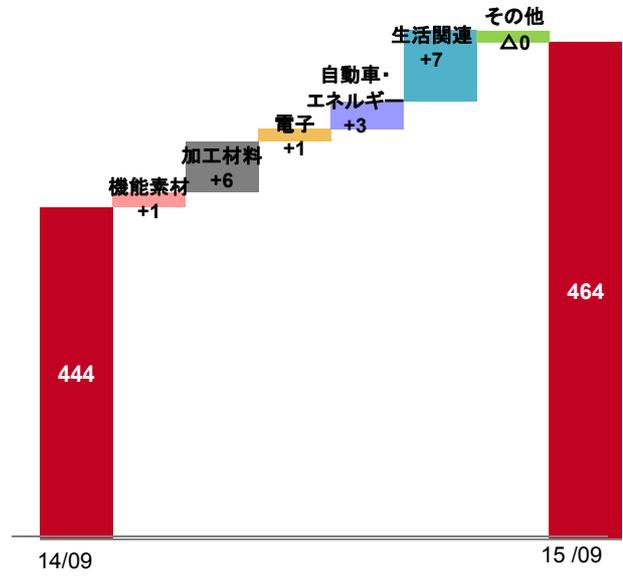


■主に海外子会社における売上高の伸長により増益

セグメント別 売上総利益(億円)

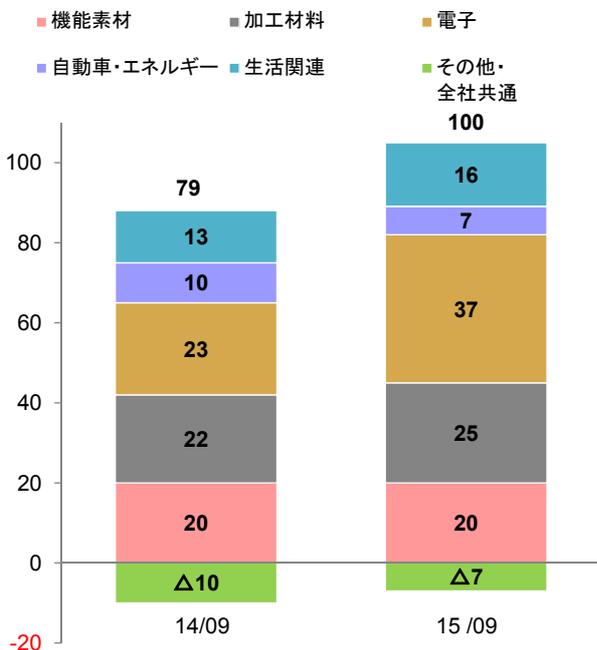


セグメント別 売上総利益増減(億円)

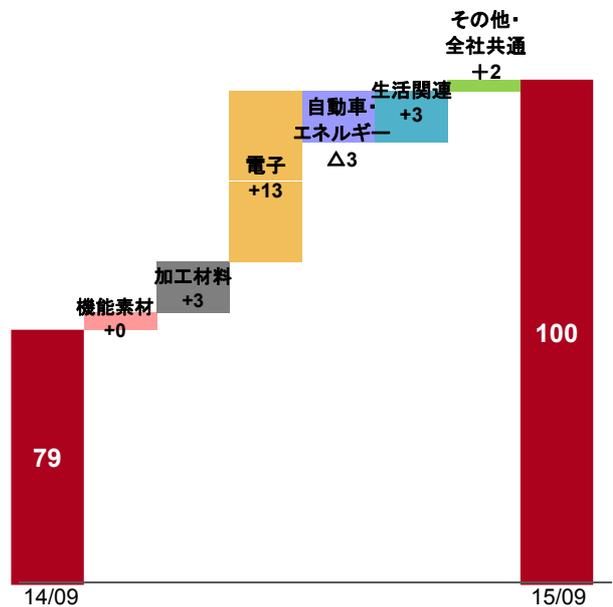


- 電子: 前第2四半期連結累計期間に台湾子会社にて貸倒引当金を計上した影響等から増益
- 加工材料: 海外での増収等により増益
- 自動車・エネルギー: 国内新規ビジネス立ち上げ時の費用発生等により減益

セグメント別 営業利益(億円)



セグメント別 営業利益増減(億円)



- 林原は、食品業界向けに国内外でトレハ®、スキンケア業界向けにAA2G®の販売が好調に推移し、売上は増加したものの、新工場稼働に伴う減価償却費の増加等により利益は横ばい

(単位:億円)

	社名	売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比
単体	長瀬産業	2,120	94%	17	90%
製造会社	林原	121	104%	25	99%
	ナガセケムテックス	117	91%	7	70%
	製造会社計(注)	481	103%	39	108%
国内販売会社	ナガセプラスチック	162	97%	2	113%
	西日本長瀬	40	129%	2	315%
	ナガセケミカル	79	103%	1	144%
	国内販売会社計(注)	406	99%	8	178%
海外販売会社	上海華長貿易有限公司	187	116%	5	121%
	台湾長瀬股份有限公司	73	80%	5	—
	広州長瀬貿易有限公司	155	114%	4	95%
	海外販売会社計(注)	1,858	109%	42	154%

※注) 各カテゴリの合計は、対象会社の単純合算値であり、連結決算数値と一致いたしません。

Copyright © 2015 NAGASE & CO., LTD.

9

- 自己資本比率は前連結会計年度末に比べポイント0.3ポイント増加 51.5%→51.8%

資産				負債及び純資産			
	15/03	15/09	増減額		15/03	15/09	増減額
流動資産	3,298	3,290	△7	流動負債	1,764	1,615	△148
現金・預金	405	434	+28	支払手形・買掛金	1,057	1,014	△43
受取手形・売掛金	2,082	2,075	△6	短期借入金 (1年内返済予定長期借入金含む)	377	380	+3
棚卸資産	690	655	△34	1年内償還予定の社債	100	—	△100
その他	120	124	+4	その他	229	220	△8
固定資産	2,166	2,030	△136	固定負債	826	891	+65
有形固定資産	667	670	+2	長期借入金	303	307	+4
無形固定資産	488	470	△17	社債	200	300	+100
投資・その他の資産合計	1,010	889	△121	退職給付に係る負債	108	108	+0
投資有価証券	926	808	△118	その他(繰延税金負債等)	214	175	△39
その他	84	81	△2	負債合計	2,590	2,507	△82
資産合計	5,465	5,321	△143	純資産	2,875	2,814	△60
				株主資本	2,263	2,309	+45
				その他の包括利益累計額	550	447	△103
				その他有価証券評価差額金	449	369	△79
				為替換算調整勘定	94	74	△20
				その他	6	3	△3
				非支配株主持分	61	57	△3
				負債・純資産	5,465	5,321	△143

Copyright © 2015 NAGASE & CO., LTD.

10

- 主に有形固定資産の取得による投資支出や配当金の支払い等による財務支出等もあったものの、利益創出により営業活動によるキャッシュ・フローは+94億円となり、現金および現金同等物は28億円増加

キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

	15/09	主な内訳	14/09
営業活動によるキャッシュ・フロー	+94	税前利益+98 減価償却費・のれん償却費+55 運転資金▲11 法人税等▲22	+9
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲53	有形固定資産の取得による支出▲40 無形固定資産の取得による支出▲6 投資有価証券の取得による支出▲3 出資金の取得による支出▲3	▲27
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲8	社債の償還による支出▲100 社債の発行による収入+99 配当金の支払▲19 長期借入による収入+14	▲3
現金および現金同等物に係る換算差額	▲3		+8
現金および現金同等物の増加額(▲減少額)	+28		▲12
現金および現金同等物の期首残高	405		338
その他の変更による影響額 (新規連結および決算期変更に伴う増減)	—		+0
現金および現金同等物の四半期末残高	433	日本292、グレーターチャイナ85 アセアン32、欧州17、北米6	325

2016年3月期 業績見通し

■ 中国の景気減速をはじめアジア経済の先行き不透明感はあるが、前期、台湾子会社において貸倒引当金を計上したことや海外における合成樹脂事業が好調に推移すること等により、増収増益見通し

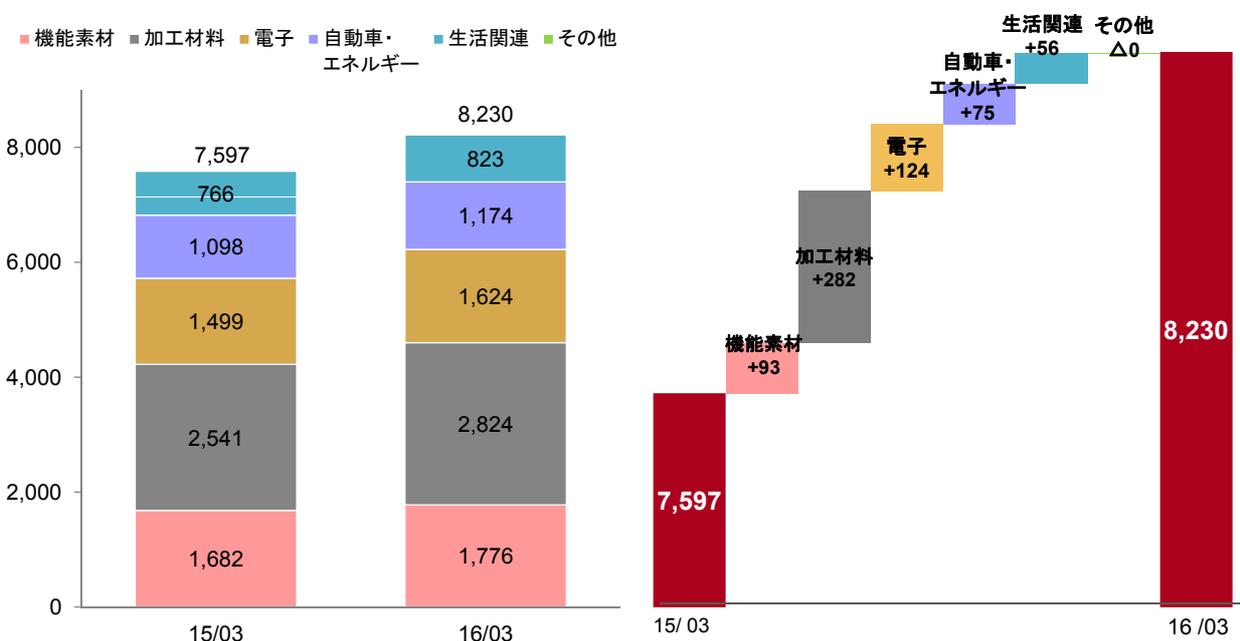
(単位:億円)

	15/03 実績	16/03 見通し	前期比
売上高	7,597	8,230	108%
売上総利益	919	973	106%
<利益率>	12.1%	11.8%	—
販売費及び一般管理費	738	778	105%
営業利益	181	195	107%
経常利益	203	206	101%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	113	121	107%
US\$レート (期中平均)	@109.9	@120	—

- 加工材料:OA・ゲーム機器業界向けに合成樹脂事業が好調に推移
- 電子:エポキシ事業等が好調に推移

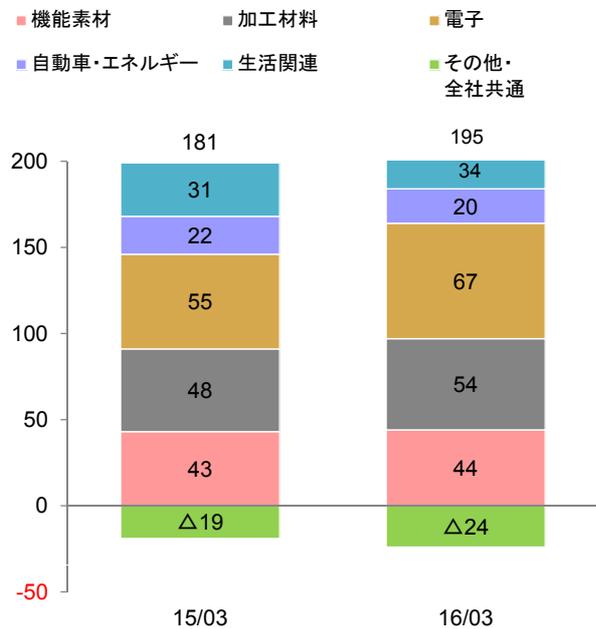
セグメント別 売上高(億円)

セグメント別 売上高増減(億円)

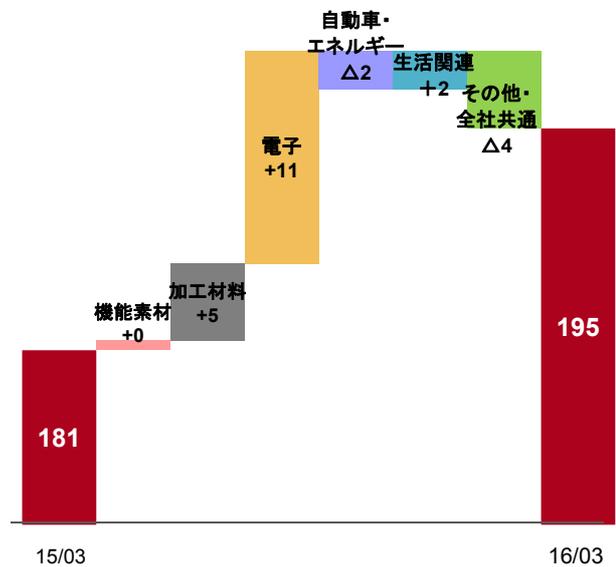


■ 投資に伴う減価償却費の増加等があるものの、売上の増加に伴う売上総利益の増加や、前期、台湾子会社において貸倒引当金を計上したこと等により、増益となる見通し

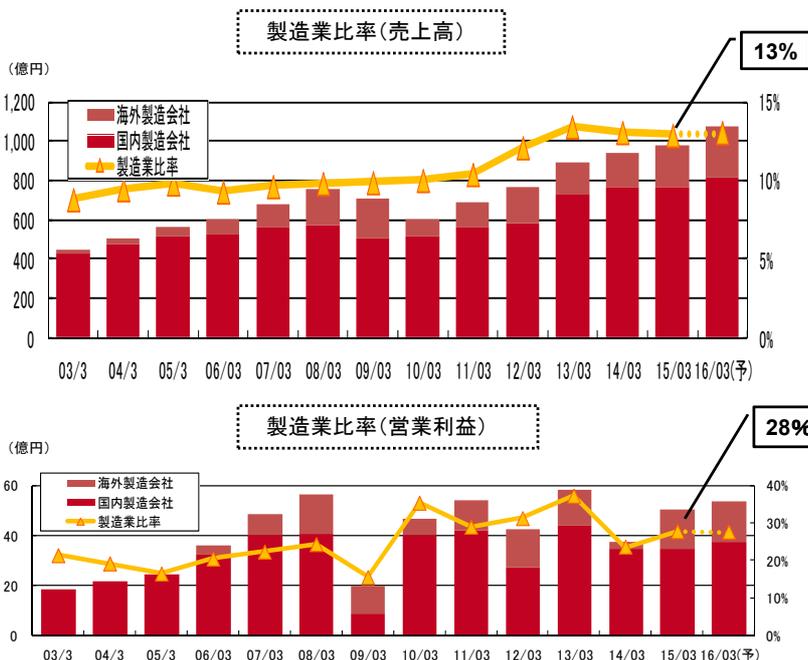
セグメント別 営業利益(億円)



セグメント別 営業利益増減(億円)



■ 製造機能、研究開発機能、技術・情報力、グローバルネットワークを強化する投融資の実行により、独自性・優位性を創出し、事業の質の向上と企業価値の向上を図っております。



- 築70年の旧岡山第一工場から、研究所に隣接する岡山・藤崎地区(新・岡山第一工場)と、今保地区(岡山機能糖質工場S棟)に工場を新設し、8月より本格稼働 最新の省エネ機器を導入した環境にやさしいプラント
《新工場のコンセプト》
- 新・岡山第一工場:「技術開発工場」としての機能
- 岡山機能糖質工場S棟:「基幹生産工場」として機能



新・岡山第一工場



岡山機能糖質工場S棟

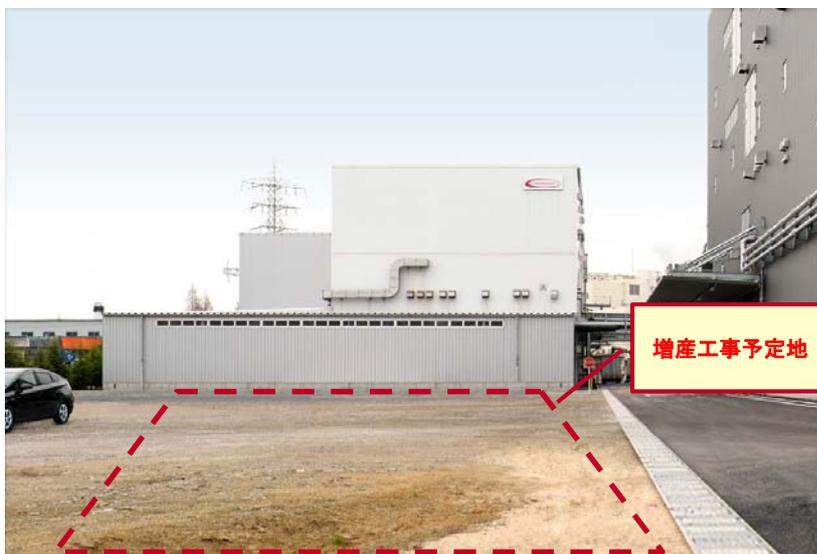


濾過工程(水飴製造)



糖化工程(マルトース製造)

- 岡山機能糖質工場・T棟(トレハロース専用工場)の増築
- 投資金額: 約26億円
- 現在の製造能力約3万5千トンの約3割の生産増強見込み
- 2016年9月竣工予定



岡山機能糖質工場・T棟

増産工事予定地



トレハ®使用または不使用の餅を10℃で放置した後、同じ荷重を加えて餅のやわらかさの違いを比較



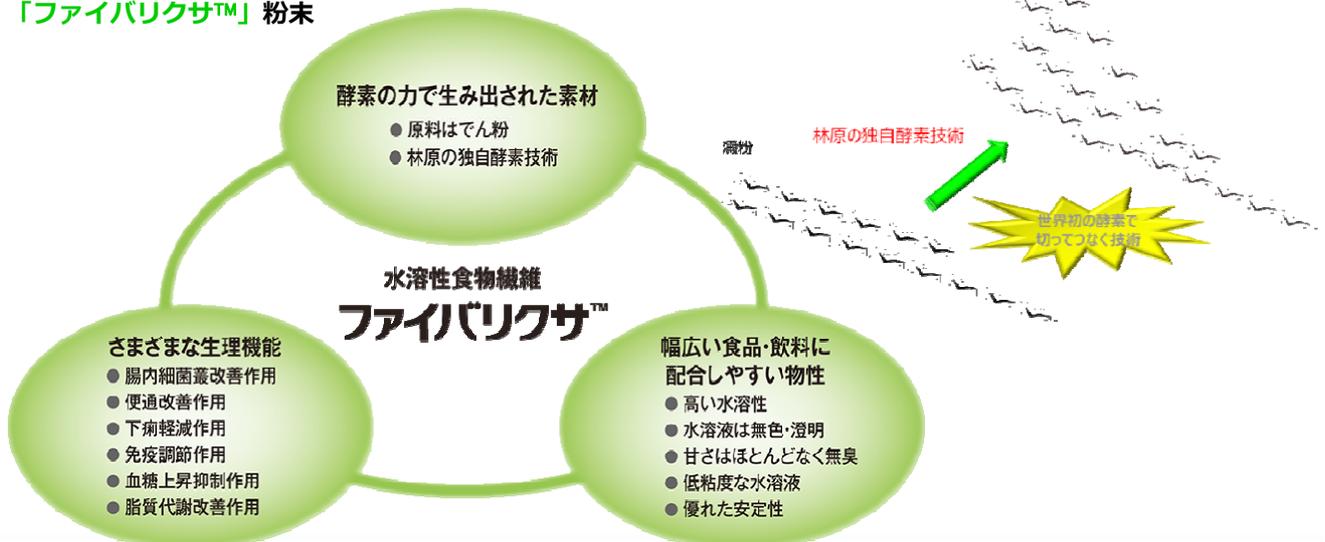
トレハ®500g

- 林原がNAGASEグループ入りして以来、初の新製品
- トレハ® に次ぐ主力製品に育てる 11月25日発売



「ファイバリクサ™」粉末

澱粉から、酵素の力だけで作る水溶性食物繊維です。
「イソマルトデキストリン」を主成分とします
 腸内フローラの改善を起点とした、様々な生理機能が期待されます。
 幅広い食品や飲料に配合できます。



- 10月8日は、「ト(10)、レ(0)、ハ(8)」トレハロースの日(日本記念日協会登録)
- 林原を支えて頂いた地元行政、財界や取引先、建設工事関係者など約150名をお招きし、「林原感謝祭」を開催
- 山陽新聞朝刊に4面連続の企業広告掲載



トレハのキャラクター
 「トレハちゃん」「とれっち」「たもっち」



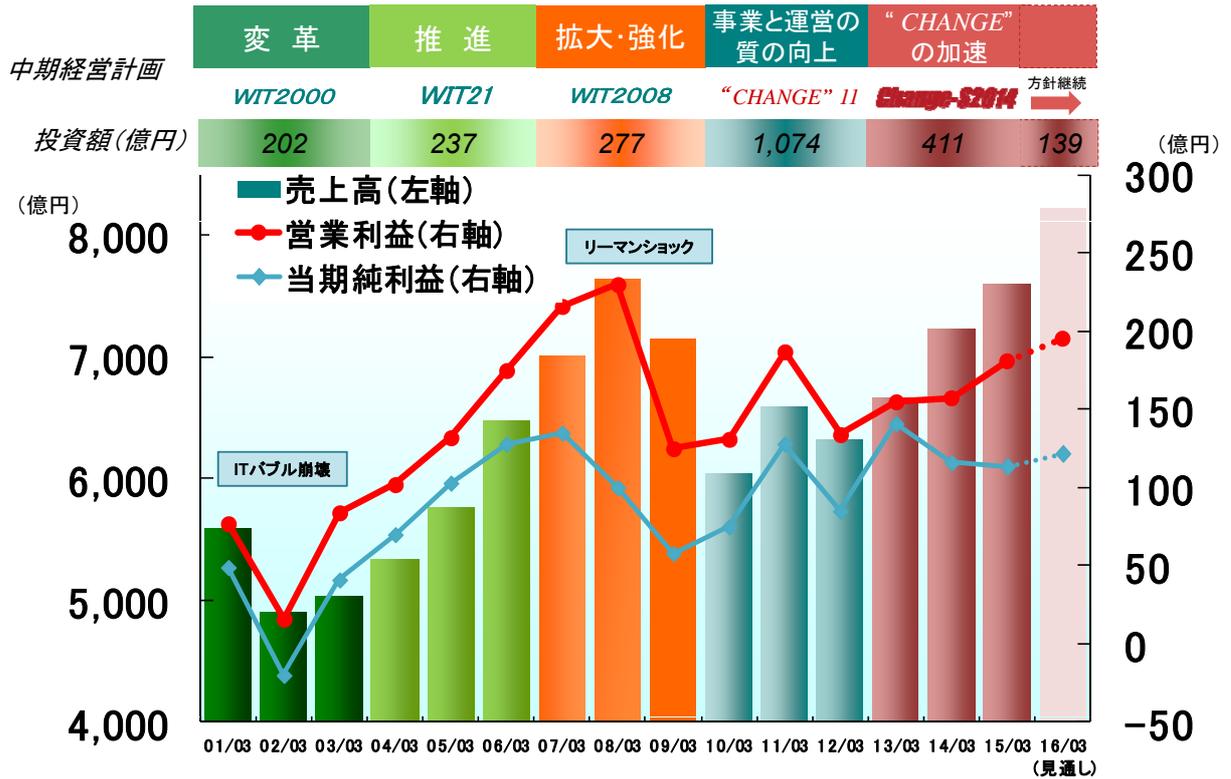
10月8日付山陽新聞広告



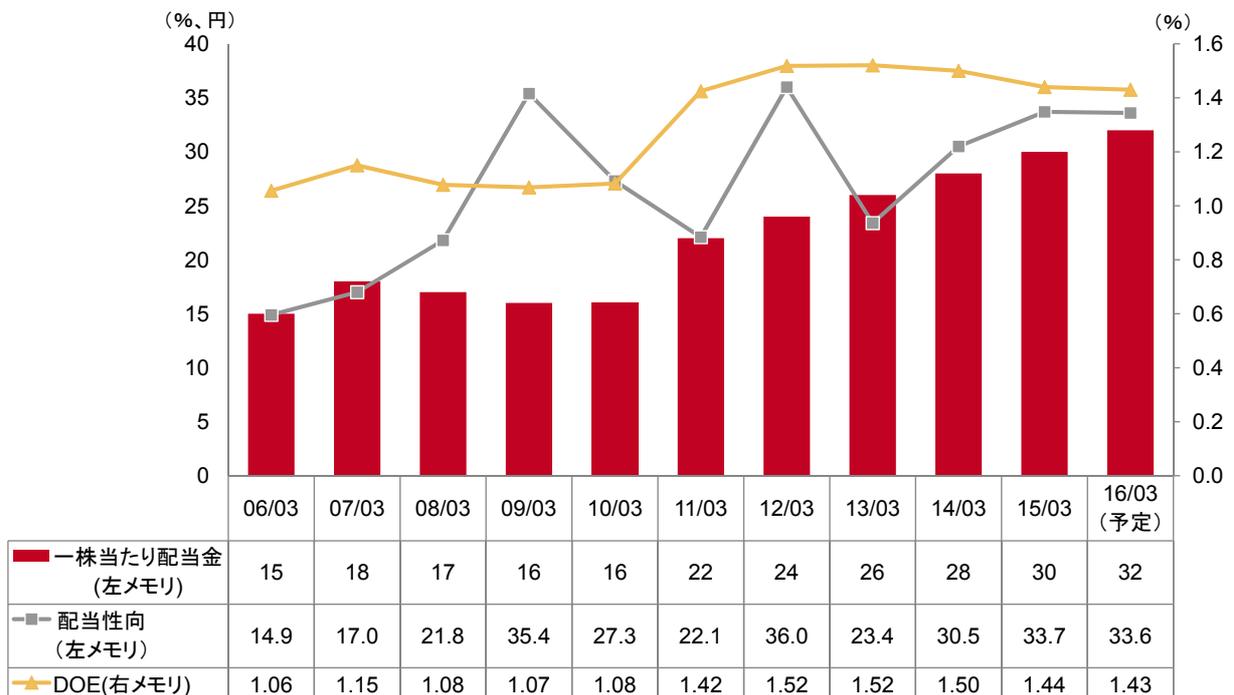
10月8日開催 感謝祭
 第一部 説明会の模様



10月8日開催 感謝祭
 第二部 懇親パーティの模様



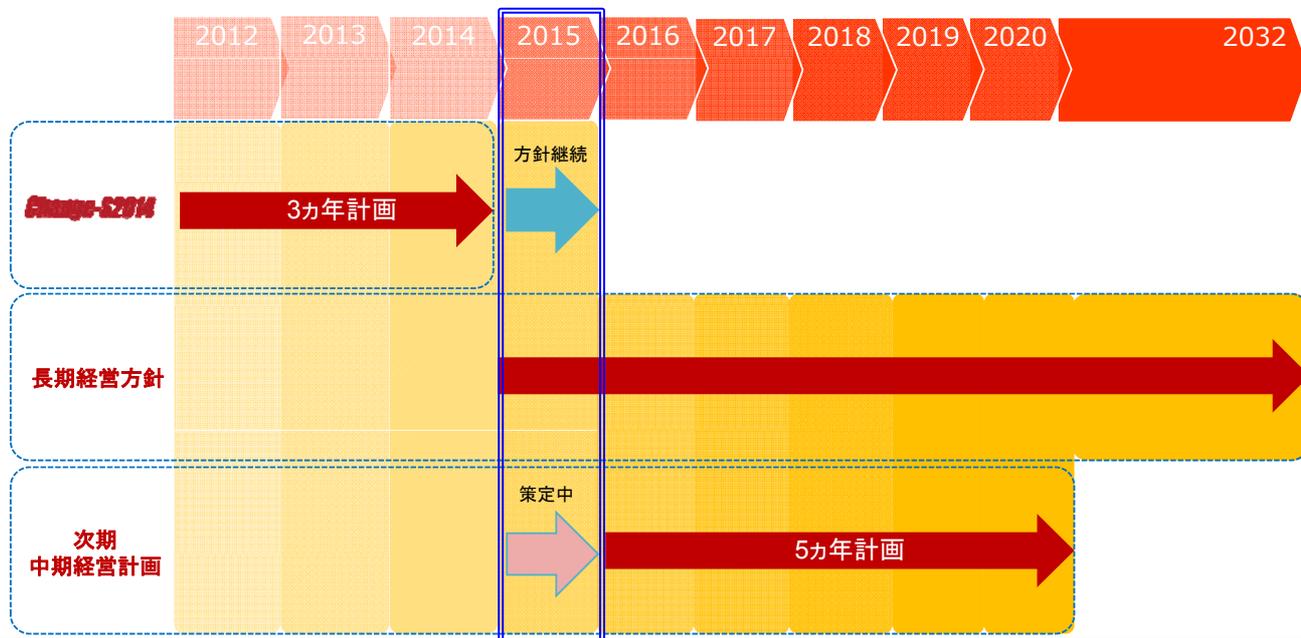
■ 中間配当金16円、期末配当金16円の年間配当金32円を予定



■2015年度は単年度計画とし、2016年度より次期「中期経営計画」を実施

創業200周年の節目となる2032年までの「長期経営方針」を策定

次期「中期経営計画」は5ヵ年計画とする方針



エポキシ事業のグローバル展開について

電子化学品事業部

事業部長 奥村孝弘

- 電子化学品事業部概要
- 電子化学品事業部ターゲット分野
- 当社エポキシ事業の歴史
- 当社エポキシ事業体制
- 電子化学品事業部の海外生産拠点
- 電子化学品事業部海外生産拠点の将来構想
- 当社エポキシ事業分野と製品群
- 各分野と主要用途
- 事業成長戦略

ビジネスモデル

マーケティング・Bizプランニング

ケミカル、材料

エポキシ樹脂、接着剤、半導体液状封止樹脂
液状成形樹脂、エポキシシート材料、導電性ペースト
剥離剤、フォトレジスト、現像液

ナガセケムテックス **Nagase ChemteX**
Nagase ChemteX Corp.
長瀬精細化工（無錫）有限公司
Nagase ChemteX (Wuxi) Corp.

EMS **ENGINEERED MATERIAL SYSTEMS, INC.**
ADHESIVES • CONDUCTIVES • INKS

NAGASE

長瀬産業株式会社

装置・加工

Pac Tech **PacTech**
Packaging Technologies GmbH
半導体ウェハーバンピング加工
半導体製造装置

ナガセテクノエンジニアリング **NTE**
薬液供給管理システム、静電塗布装置

シナジービジネス

シリコン樹脂、ウレタン樹脂
接合材料、金型、ディスペンサー

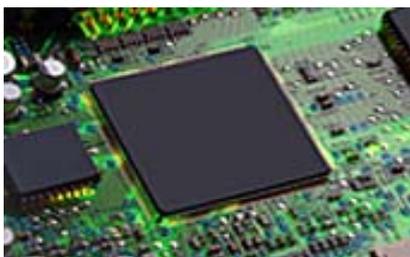
商社としての情報ネットワークだけでなく、製造子会社を持つことでより深い
技術営業と開発活動を行えることが事業部の強み！！



✓インフラストラクチャー
✓環境・エネルギー



✓ディスプレイ

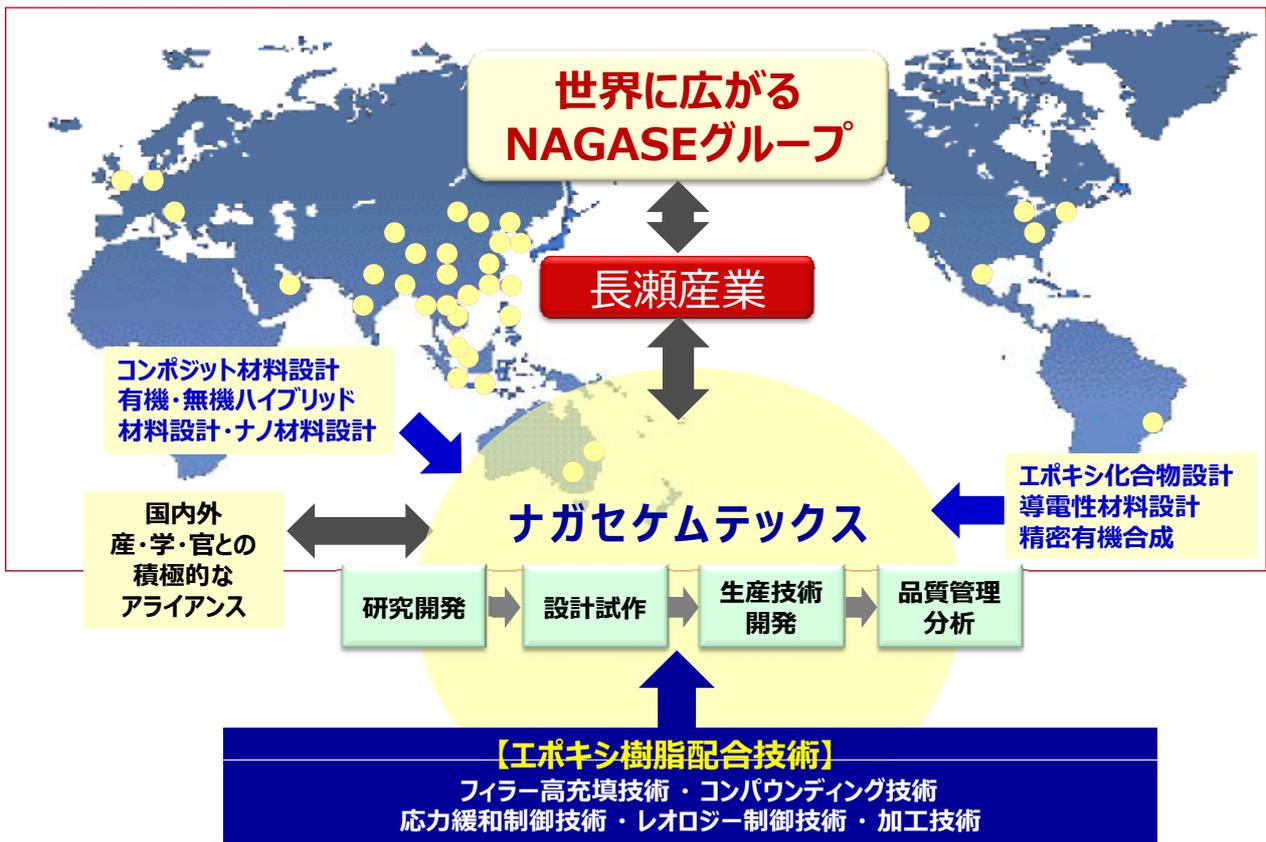


✓電気・電子部品
✓マイクロエレクトロニクス・半導体



✓カーエレクトロニクス

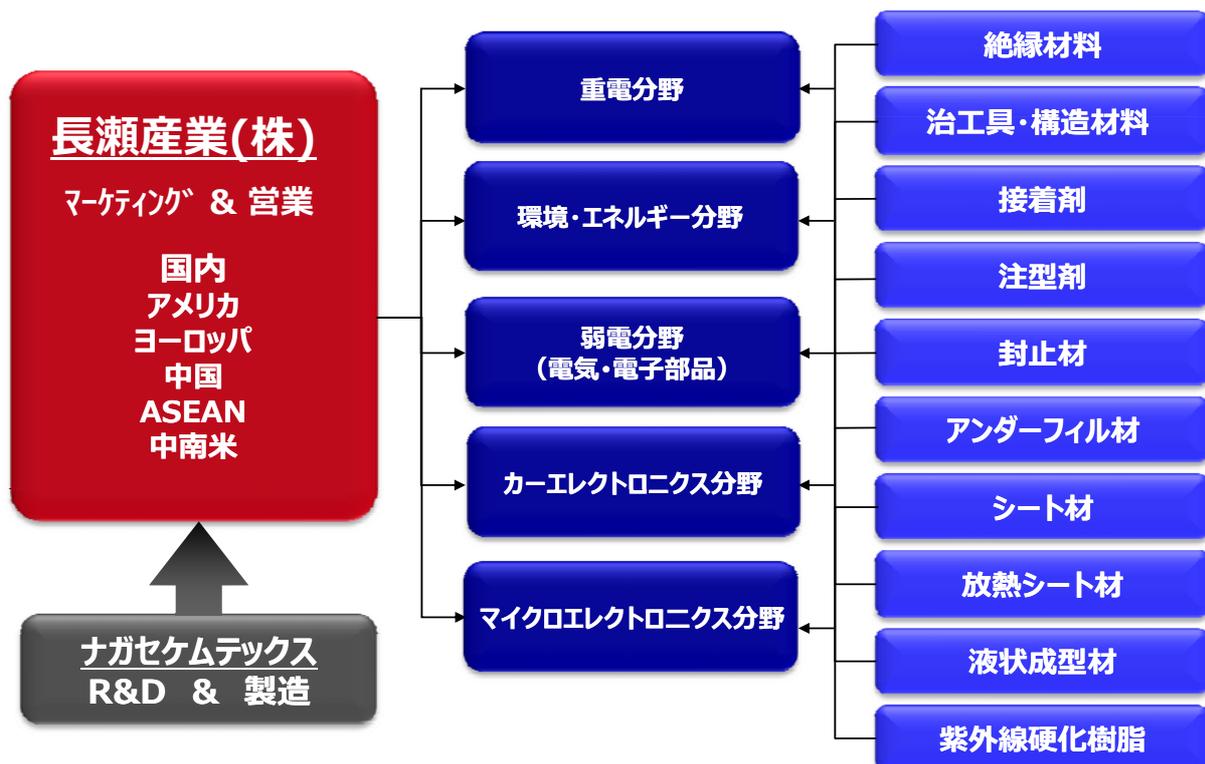
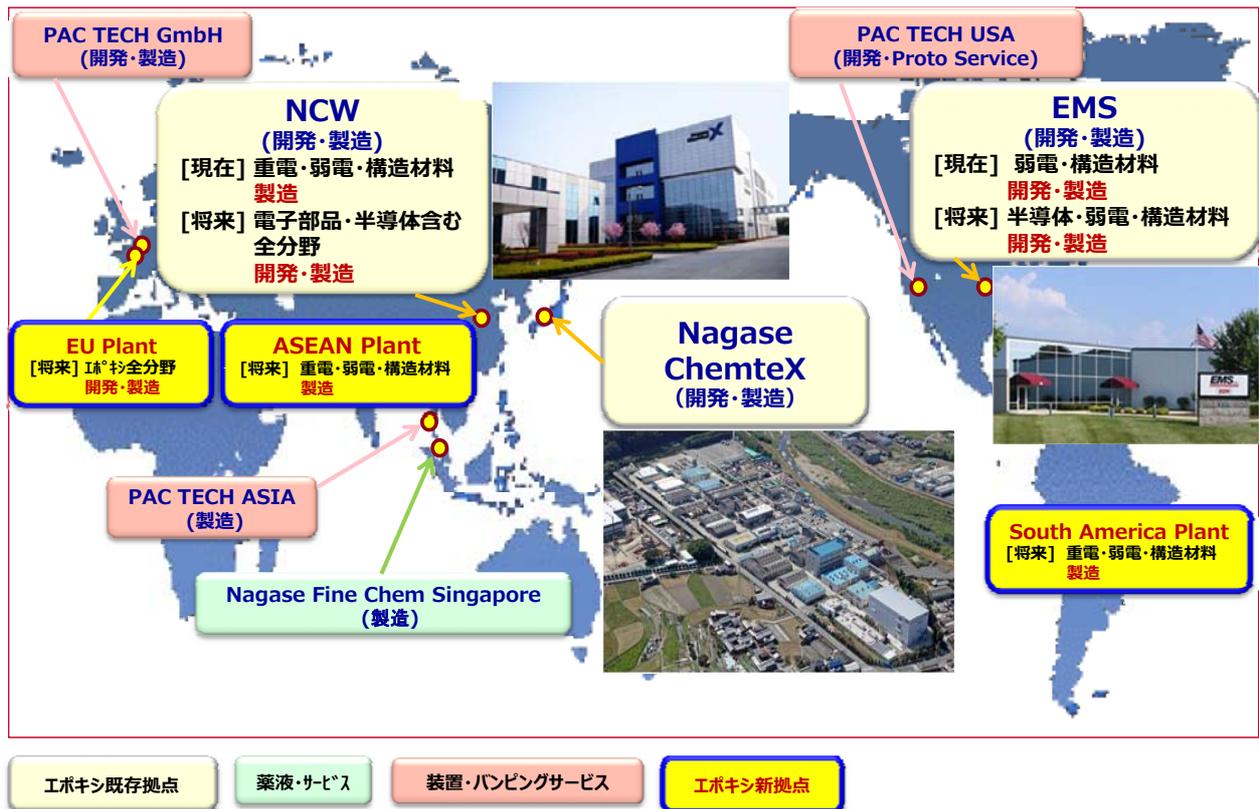
- 1962年 長瀬産業(株)尼崎東工場にてエポキシ樹脂の国産化開始
- 1970年 スイス/チバガイギー社と合併会社 長瀬チバ(株) <現ナガセケムテックス(株)> 設立
- 2000年 長瀬チバ(株)を長瀬産業(株)全額出資のナガセケムテックス(株)とする
- 2001年 ナガセケムテックス(株)、ナガセ化成工業(株)、帝国化学産業(株)、ナガセ生化学工業(株)の4社統合により、新生「ナガセケムテックス(株)」誕生
- 2002年 ナガセケムテックス(株)との共同出資により、長瀬精細化工(無錫)有限公司 <NCW> 設立
- 2003年 ISO 9001統合、ISO 14001の承認取得
- 2012年 ナガセケムテックス(株)と、米国のエポキシメーカーである Engineered Materials Systems Inc. (EMS, オハイオ州)の全株式を取得(子会社化)する
マイクロエレクトロニクス材料の生産棟(クリーンルーム棟)新設
- 2013年 長瀬精細化工(無錫)有限公司にアプリケーションラボ設立
- 2015年 航空機関連ビジネスを展開するため JIS Q9100を取得



エポキシ既存拠点

薬液・サービス

装置・バンピングサービス

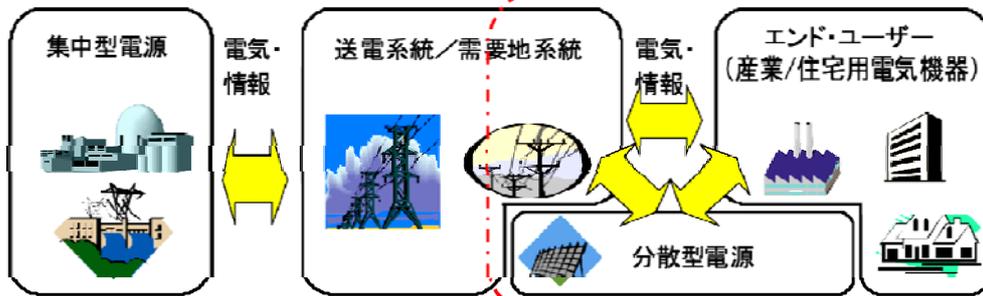


重電分野

大型変圧器 ・ 絶縁装置 ・ 大型絶縁部品

変電・発電所設備に使用される各種絶縁注型、成型材料

＜スマートグリッドのイメージ＞ ※経済産業省資料(低炭素電力供給システムに関する研究会H21.2.24)より

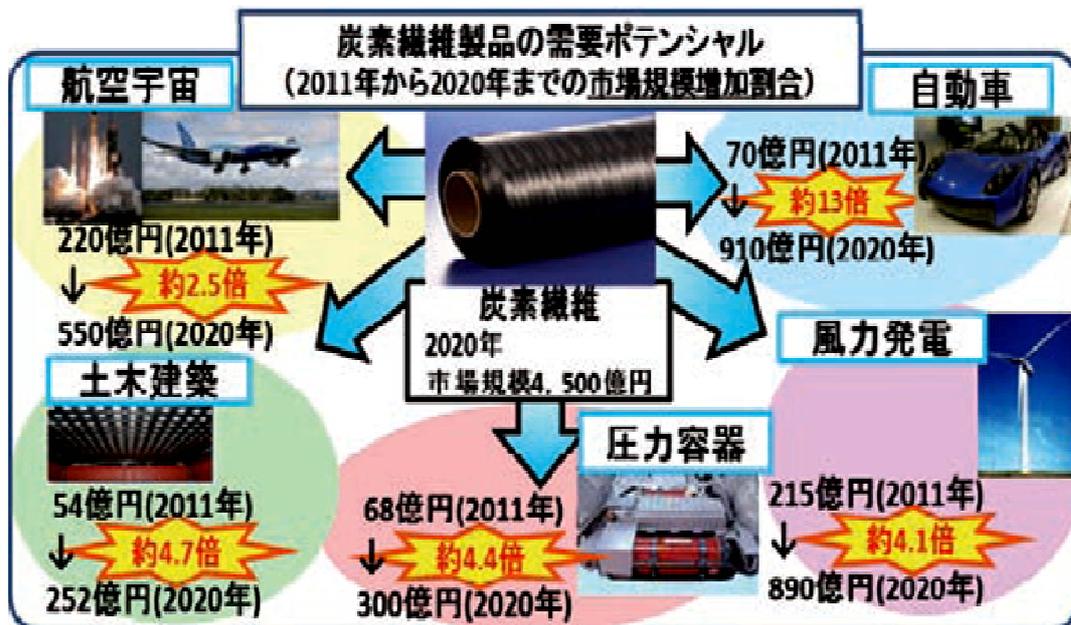


環境・エネルギー分野

航空機用マトリクス材料 ・ 自動車車体用マトリクス材料

風力発電用ブレード接着剤、マトリクス材料

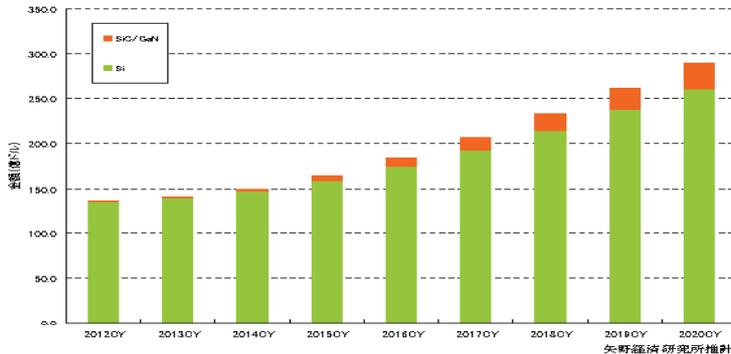
車体構造接着剤 ・ 水素タンク等高圧タンク用マトリクス材料



弱電分野 (電気・電子部品)

パワーモジュール、モーター、コンデンサー、トランス、リアクター
コイル、バッテリー等 各種電気・電子部品の注型、シール、接着

【パワー半導体の世界市場規模と予測】 出展：矢野経済研究所



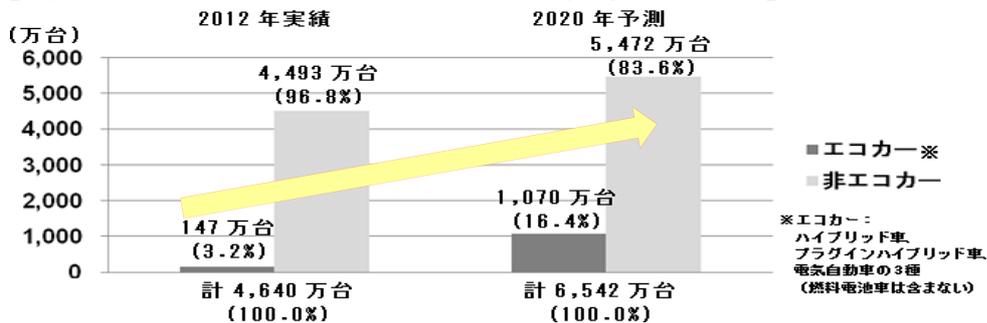
【パワーエレクトロニクスは電気エネルギーの発生・輸送・消費を効率的に行うためのキーテクノロジー】 出展：内閣府



カーエレクトロニクス分野

HEV/EV用電子部品、電装部品、イグニッションコイル
各種センサーの封止、注型、接着

【世界4極における、エコカーと非エコカーの販売台数の変化(乗用車)】 出展：野村総合研究所



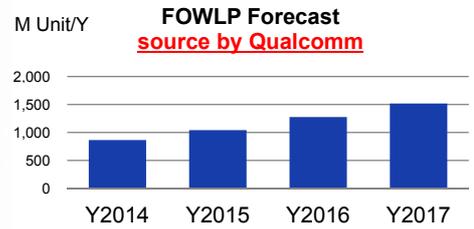
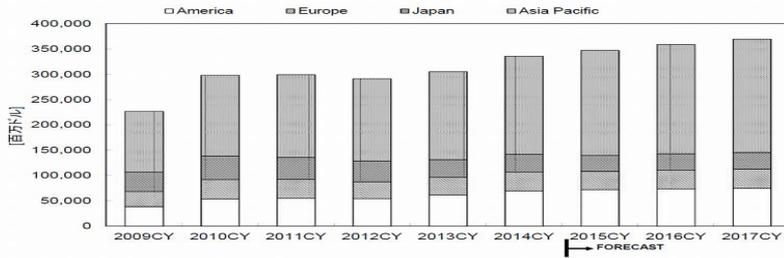
【回生システムの需要動向】 出展：富士キメラ



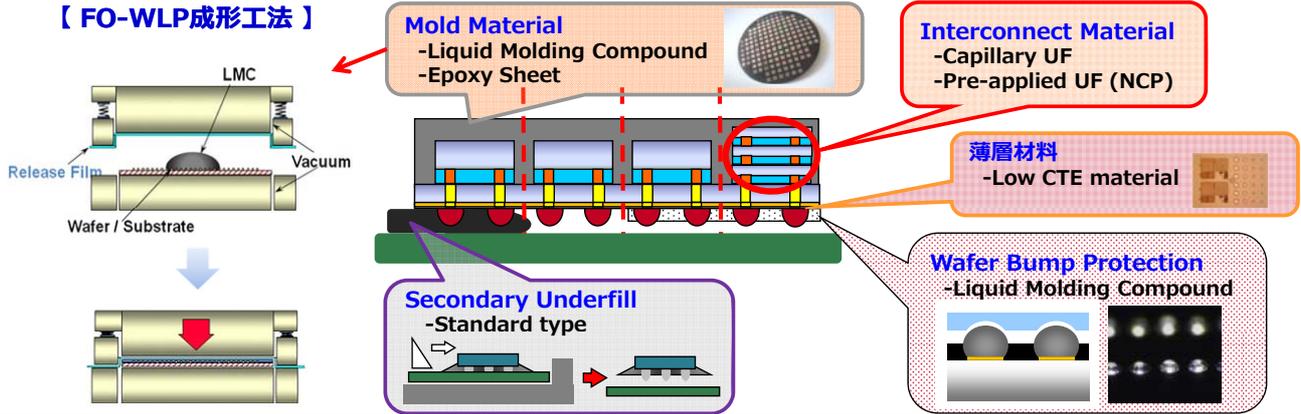
マイクロエレクトロニクス分野

- 半導体パッケージ用液状封止材料、OLEDディスプレイ/OLED照明シール剤
- モバイル機器用電子部品(SAW/BAWフィルター、インダクター等)封止

【地域別半導体市場規模実績と予測のグラフ】 出典：WSTS

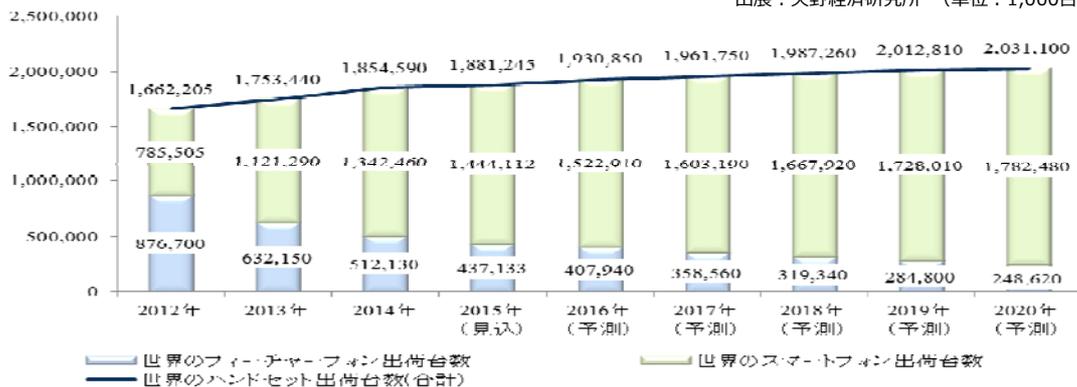


【FO-WLP成形工法】



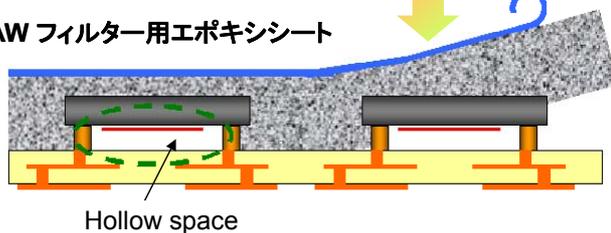
【世界のハンドセット(フィーチャーフォン+スマートフォン)市場規模推移】

出展：矢野経済研究所 (単位：1,000台)



携帯電話に搭載される重要電子部品
= SAWフィルター =

SAWフィルター用エポキシシート



ターゲット市場	業 界	重電	弱電	カーエレクトロニクス	マイク エレクトロニクス	環境 エネルギー
	分 野	電力機器	産機・民生機器	HEV・EV FCV	スマホ・タブレット・照明	航空機・自動車・ IT機器
	製品用途	コイル、トランス SIS・GIS	パワーモジュール	電子部品 パワートレイン 半導体 FPD	電子部品 半導体 OLED E-paper	機体 車体 水素タンク 風車
	地 域	日本・欧州・中国・アジア	日本・欧州・中国・アジア	日本・欧州・米国・アジア	日本・欧州・米国 アジア・中国	日本・欧州・米国 中国
	顧 客	重電メーカー	電気部品、 電子部品メーカー	自動車メーカー 電装部品メーカー	半導体メーカー 電子部品メーカー	航空機メーカー 自動車メーカー 重工メーカー コンポジットメーカー
	材 料	注型材 接着剤	注型材 接着剤	注型材 接着剤 封止用シート・放熱シート	封止用シート 放熱シート 液状封止樹脂 液状シール材	ハニカム 接着剤 マトリックス材
重要行動計画	・海外展開の加速 (欧州・中国・アジア)	・省エネ技術への対応	・電子化への製品拡大	・微細化技術への対応	・軽量化技術への対応	

世界市場規模

650億円 ★当社エポキシビジネス売上：141億円（現在）

(参考資料)セグメント別概況

<所在地別売上高・営業利益>

(億円)

	15/03期		16/03期				
	中間	通期実績	中間	前年 同期比	通期 見通し	前期比	
売上高	国内	812	1,631	753	93%	1,672	103%
	海外	221	454	238	108%	526	116%
	連結調整	▲195	▲403	▲200	-	▲422	-
	合計	838	1,682	792	94%	1,776	105%
営業利益	国内	15	33	15	97%	33	102%
	海外	5	10	5	108%	11	105%
	連結調整	▲0	▲1	+0	-	▲0	-
	合計	20	43	20	103%	44	102%

※上記数値は、所在地別の連結会社数値の合算になります。
地域間連結消去を加味していない為、連結調整項目にて調整しております。

2016年3月期 第2四半期 実績

売上高 **792億円(94%)**

◆機能化学品事業は、海外での売上は増加したが、国内において自動車生産台数の低迷等を受け、塗料原料およびウレタン原料等の売上が減少し減収

◆スペシャリティケミカル事業は、樹脂添加剤や半導体関連等の電子業界向けケミカルは堅調に推移したが、加工油剤等が低調に推移し減収

営業利益 **20億円(103%)**

◆利益率の改善等により増益

2016年3月期 見通し

◇下期、自動車生産台数の回復等により塗料原料およびウレタン関連ビジネスが復調



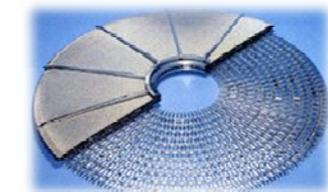
機能化学品事業部

塗料原料:
自動車のボディ等に使用されています。



機能化学品事業部

ウレタン原料:
高い密着性と弾性を持ち、カーシートのクッション等に使用されています。



スペシャリティケミカル事業部

デナフィルター®:
液晶パネル等のフィルム製造時の異物除去に使用されています。
子会社・長瀬フィルター(株)で製造を行っています。

<所在地別売上高・営業利益>

(億円)

	15/03期		16/03期				
	中間	通期実績	中間	前年 同期比	通期 見通し	前期比	
売上高	国内	791	1,618	778	98%	1,678	104%
	海外	757	1,569	868	115%	1,824	116%
	連結調整	▲308	▲646	▲313	-	▲678	-
	合計	1,240	2,541	1,333	108%	2,824	111%
営業利益	国内	10	24	11	109%	24	102%
	海外	11	23	14	121%	29	122%
	連結調整	▲0	+0	+0	-	+1	-
	合計	22	48	25	116%	54	112%

※上記数値は、所在地別の連結会社数値の合算になります。
地域間連結消去を加味していない為、連結調整項目にて調整しております。

2016年3月期 第2四半期 実績

売上高 1,333億円(108%)

◆カラー&プロセッシング事業は、液晶テレビ反射板用材料および導電性材料等の売上は減少したが、顔料・添加剤、情報印刷関連材料、光反射防止シートおよび合成樹脂等の売上が増加し増収

◆OA業界等への合成樹脂販売を中心とする事業は、国内での売上は減少したが、北東アジアおよび東南アジアでの売上が増加し増収

営業利益 25億円(116%)

◆売上が増加したこと等により増益

2016年3月期 見通し

◇下期も引き続き、OA業界向け合成樹脂事業が好調に推移、また一部製造会社において収益改善



カラー&プロセッシング
事業部

カラーフォーマー:
子会社・福山田化学工業(株)等にて製造するインク原料で、領収書や切符等の感熱紙に使用されています。



カラー&プロセッシング
事業部

導電性材料(テナロン):子会社・ナガセケムテックス(株)にて製造しているフィルム等に使用される帯電防止材料です。



カラー&プロセッシング
事業部

光学反射防止フィルム:
スマートフォンやカーナビ等で使用されている光学反射防止シートです。



カラー&プロセッシング
事業部

コポリエステル樹脂(トライタン™):
耐熱性を100℃以上にまで高めたコポリエステル樹脂。ガラスライクの容器などに使用されています。



ポリマーグローバル
アカウント事業部

エンジニアリング・プラスチック:
OA機器等に使用されています。

<所在地別売上高・営業利益>

(億円)

	15/03期		16/03期				
	中間	通期実績	中間	前年 同期比	通期 見通し	前期比	
売上高	国内	717	1,410	629	88%	1,464	104%
	海外	408	810	384	94%	940	116%
	連結調整	▲369	▲721	▲360	-	▲780	-
	合計	756	1,499	653	86%	1,624	108%
営業利益	国内	19	37	19	100%	38	101%
	海外	3	19	19	510%	31	162%
	連結調整	▲0	▲1	▲2	-	▲2	-
	合計	23	55	37	159%	67	120%

※上記数値は、所在地別の連結会社数値の合算になります。
地域間連結消去を加味していない為、連結調整項目にて調整しております。(のれん償却含む)

2016年3月期 第2四半期 実績

売上高 653億円(86%)

- ◆電子化学品事業は、液晶パネル製造用液等の売上が減少したものの、エポキシ樹脂関連の売上が増加し増収
- ◆電子資材事業は、液晶関連部材の売上が減少したことから減収

営業利益 37億円(159%)

- ◆前第2四半期連結累計期間において、台湾子会社において貸倒引当金を計上したこと等の影響で増益

2016年3月期 見通し

◇下期も引き続き、エポキシ樹脂関連が好調に推移



電子化学品事業部

液晶パネル製造用薬液:
子会社・ナガセケムテックス(株)にて製造しており、液晶パネル製造時に使用されています。



電子化学品事業部

エポキシ樹脂:
子会社・ナガセケムテックス(株)にて製造しており、半導体封止用材料、建築・建材から電機・電子・自動車・船舶・風力発電など各用途に応じた接着剤、ディスプレイなどの光学部品用材料など、多種多様な産業分野で利用されています。



電子資材事業部

液晶関連部材:
スマホ・タブレットPC業界向けに表示デバイス周辺部材やタッチパネル部材等を販売しています。

<所在地別売上高・営業利益>

(億円)

	15/03期		16/03期				
	中間	通期実績	中間	前年同期比	通期見通し	前期比	
売上高	国内	270	553	262	97%	553	100%
	海外	348	759	414	119%	839	111%
	連結調整	▲99	▲214	▲108	-	▲219	-
	合計	519	1,098	568	110%	1,174	107%
営業利益	国内	▲0	0	▲4	-	▲2	-
	海外	11	22	11	101%	22	100%
	連結調整	+0	▲1	+0	-	▲0	-
	合計	10	22	7	67%	20	90%

※上記数値は、所在地別の連結会社数値の合算になります。
地域間連結消去を加味していない為、連結調整項目にて調整しております。

2016年3月期 第2四半期 実績

売上高 568億円(110%)

- ◆自動車関連事業は、国内では自動車生産台数の減少を受け売上は低調に推移したが、海外において米州、中国および東南アジアが全体的に好調に推移し増収
- ◆エネルギー事業は、太陽光発電関連商材やリチウムイオン電池向け商材の売上の増加等により増収

営業利益 7億円(67%)

- ◆国内新規ビジネス立ち上げ時の費用負担発生等により減益

2016年3月期 見通し

◇下期、自動車生産台数の回復等により、自動車関連商材の売上が増加



自動車材料事業部

樹脂(ポリカーボネート):ヘッドライト等に使用されます。
樹脂(PP):バンパー等に使用されています。



自動車材料事業部

樹脂(PCABS等)、加飾フィルム:インパネ・ダッシュボード周りに使用されています。



自動車材料事業部

フロアボード製造:関連会社で製造を行っています。

<所在地別売上高・営業利益>

	(億円)						
	15/03期		16/03期				
	中間	通期実績	中間	前年 同期比	通期 見通し	前期比	
売上高	国内	459	950	490	107%	1,014	107%
	海外	57	124	63	110%	133	107%
	連結調整	▲148	▲309	▲144	-	▲324	-
	合計	369	766	409	111%	823	107%
営業利益	国内	28	62	29	103%	63	101%
	海外	0	2	1	197%	3	106%
	連結調整	▲16	▲33	▲14	-	▲32	-
	合計	13	31	16	125%	34	108%

※上記数値は、所在地別の連結会社数値の合算になります。
地域間連結消去を加味していない為、連結調整項目にて調整しております。(のれん及び技術資産償却含む)

2016年3月期 第2四半期実績

売上高

409億円(111%)

◆ライフ&ヘルスケア製品事業は、食品素材分野において国内・海外ともにトレハ®等が、スキンケア・トイレタリー分野においてAA2G®や他原料販売が増加したこと等により増収

◆ビューティケア製品事業は、従来商品の販売が低調であったことから減収

営業利益

16億円(125%)

◆売上の増加および不採算事業からの撤退等により増益

2016年3月期 見通し

◇下期も引き続き、スキンケア・トイレタリー業界向け原料販売が好調に推移

◇抗がん剤をはじめ医療関連ビジネスが好調に推移



ライフ&ヘルスケア製品事業部

トレハ®:

子会社・(株)林原で製造しており、冷凍や乾燥による品質劣化を抑制する等の機能を持つ機能性糖質。和洋菓子をはじめ様々な加工食品に幅広く使用される甘味料です。



ライフ&ヘルスケア製品事業部

AA2G®:

子会社・(株)林原で製造しており、不安定なビタミンCにブドウ糖を結合させて安定化した安定型ビタミンC。化粧品に配合しても安定で着色しにくい特性があり、生体内でビタミンCの生理活性を発揮することから、国内外の美白化粧品に配合されています。



ライフ&ヘルスケア製品事業部

医薬・医療分野:

原薬・中間体や医療原料の販売、子会社・ナガセ医薬品(株)では抗がん剤製造を行っています。



ビューティケア製品事業部

化粧品原料:

長瀬産業(株)では化粧品原料の販売、子会社・(株)ナガセビューティケアでは化粧品・健康食品の製造・販売を行っています。

長瀬産業株式会社

<http://www.nagase.co.jp>

当プレゼンテーション資料には、2015年11月30日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。